

研究課題名	心房機能性両房室弁逆流における手術前後でのエネルギー損失の解析
研究の意義・目的	<p>心臓には血液の逆流を防ぐために弁が存在している。その中でも僧帽弁（僧帽弁、左房と左室の間にあり、弁は膜のような組織でそれらが合わさることにより逆流を防いでいる）は心臓の収縮期に逆流しないように、腱索とよばれる支持組織で心臓に固定されている。しかし僧帽弁閉鎖不全症ではその腱索が何らかの理由で切れてしまい、逆流が起きてしまい、器質的僧帽弁閉鎖不全症と呼んでいる。</p> <p>最近ではこの機序による僧帽弁閉鎖不全症以外にも心房細動(シンボウサイドウ、心房細動とは心臓の上の部屋である心房が小刻みに震えて痙攣し、心臓がうまく機能しなくなる不整脈)により左房が大きくなることもあり、それに伴い僧帽弁輪自体も大きくなります。すると腱索が正常であったとしても弁同士が合わなくなり逆流が生じてしまい、これを心房機能性僧帽弁閉鎖不全症と呼んでいる。</p> <p>脳梗塞などの診断で使用されるMRIと同様に最近では心臓にもMRIを使用することで心臓の構造や血流を可視化することが出来る。またエナジーロスといって心臓の中で無駄なエネルギー損失がどれだけ発生しているかを計測することもできる。</p> <p>今回、心房機能性僧帽弁閉鎖不全症において手術によってエナジーロスがどれだけ改善するのかを解析することを目的とする。</p>
研究を行う期間	機関の長の実施許可日～ 2027年12月
研究協力を お願いしたい方 (対象者)	<p>2022年1月～2027年12月に大阪公立大学医学部附属病院の心臓血管外科で、以下の選択基準を全て満たし、除外基準のいずれにも合致しない方が対象となります。</p> <p>選択基準</p> <ol style="list-style-type: none">2022年1月～2027年12月までに心房機能性房室弁逆流症に対して僧帽弁形成術もしくは三尖弁形成術を受けている方手術時の年齢が20歳以上である方 <p>除外基準</p> <ol style="list-style-type: none">術前もしくは術後にペースメーカーを含む、MRI撮像ができない金属が体内にある方冠動脈疾患を認める方大動脈弁狭窄症、大動脈弁閉鎖不全症などの血流解析に影響を及ぼす疾患がある方
協力をお願いしたい 内容と研究に使わせて いただく試料・情報 等の項目	<p>診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。</p> <ul style="list-style-type: none">病歴、診断名、手術時年齢、性別、喫煙歴、過去の心臓手術歴、術前内服薬(β遮断薬、ARB/ACE 阻害薬、抗不整脈薬) <p>来院時現症</p> <ul style="list-style-type: none">手術時身長(cm)、手術時体重(kg)、BSA、NYHA 分類 <p>術前検査項目</p> <ul style="list-style-type: none">術前の心臓超音波検査での LVEF, LVDd, LVDs, LAVI, CI、房室弁の逆流量術前血液検査所見(Creatinine, Hemoglobin)

	<ul style="list-style-type: none"> ・術前の心臓 MRI での房室弁逆流量、エナジーロス、心房と心室のそれぞれの EF 手術情報 <ul style="list-style-type: none"> ・術式(アプローチを含む) ・手術情報(手術時間、心停止時間) 術後検査項目 <ul style="list-style-type: none"> ・術後の心臓超音波検査での LVEF, LVDd, LVDs, LAVI、房室弁の逆流量 ・術後の血液検査所見(Creatinine, Hemoglobin) ・術後の心臓 MRI での房室弁逆流量、エネルギー損失、心房と心室のそれぞれの EF
試料・情報を 利用する者の範囲 および管理について 責任を有する者の 研究機関の名称	この研究は、公立大学法人大阪 大阪公立大学大学院医学研究科心臓血管外科学のみで行います。 【研究責任者】 心臓血管外科学 教授 高橋 洋介
個人情報の取り扱い	この研究にご参加いただいた場合、あなたから提供された診療情報などのこの研究に関するデータは、すぐには個人を特定できない形式に記号化した番号により管理されます。 この研究から得られた結果が、学会や医学雑誌などで公表されることはあります。このような場合にも、あなたのお名前など個人情報に関することは含まない形で公表されます。
本研究の 利益相反	本研究の利害関係については、各研究機関で定められた利益相反マネジメントの規定等に従って必要に応じて各研究機関の利益相反マネジメント委員会へ報告を行うことにより、利益相反を管理し研究を遂行します。 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力を したくない場合	診療情報が当該研究に用いられることについてご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも不利益を受けることはありません。
連絡先	大阪公立大学医学部附属病院 心臓血管外科 担当者氏名：南郷谷 亮 電話番号：(06) 6645-3980 メールアドレス：su24170j@st.omu.ac.jp